

記入例

# 豊かな学校生活を送るために

## 移行支援シート 中学校等 → 高等学校等

このシートは、進学先へお子さんに必要と思われる支援や配慮についてお伝えし、お子さんが楽しく充実した学校生活を送ることができるようにするためのものです。

在籍する学校の担任等に記入してもらい、保護者の方が、進学先等へお渡しください。

記入の際は、「移行支援シート作成の手引」を参考にしてください。

＜在籍学級の記入について＞  
 通常の学級の場合  
 → 3年〇組  
 特別支援学級の場合  
 → 学級種別  
 通級による指導を受けている場合  
 → 3年〇組  
 (〇〇中学校通級指導教室を利用)

生徒の名前	〇〇 □□	保護者の名前	〇〇 △
住所・電話番号	鹿児島市鴨池新町10番1号・099-〇〇〇-〇〇〇〇		
在籍校	〇〇市立〇〇中学校	在籍学級等	特別支援学級 (自閉症・情緒障害)
進学先学校・学科等	〇〇立〇〇高等学校 □□科△△△コース		
作成機関・記入者	〇〇市立〇〇中学校 特別支援学級担任 □□ □□		

# 1 現在行っている主な支援の内容 〈中学校等（通常の学級・特別支援学級→高等学校等）〉

(1) 資料の観点例を参考に各項目について、支援度を記入してください。

◎：配慮・支援の必要はない。

○：何らかの配慮・支援があればできる。

△：多くの配慮・支援を要する。

(2) ○又は△の項目について、これまで行ってきた配慮や支援を具体的に記入してください。

項 目		支援度	主に中学校で行ってきた配慮・支援
健康・ 身体 機能	① 健康面に関する配慮	◎	② 視力は左右共に0.1で眼鏡を使用している。席は最前列か教室中央列の前から2番目に固定した。プリント類は、 <u>必要に応じて拡大コピーして提示した。</u> ⑦ 突然の大きな音や高く響く音が苦手で、耳をふさぎ落ち着かなくなることがある。 <u>本人に確認を取った上で、イヤーマフを着用したり落ち着くまで別室で過ごしたり</u> できるようにした。
	② 視覚	○	
	③ 聴覚	◎	
	④ 姿勢保持	◎	
	⑤ 移動	◎	
	⑥ 手指の動き	◎	
	⑦ その他（感覚の過敏性）	△	
身 辺 処 理 ・ 生 活	① 食事	◎	④ 机の中やかばん棚が乱雑になりやすいので、教科ごとの <u>ファイルやブックエンドを使って分け</u> をした。 ⑤ 提出物については、 <u>本人にメモを取るよう</u> に指導するとともに、 <u>保護者に電話等で事前に連絡する</u> ようにした。
	② 排せつ	◎	
	③ 衣服の着脱	◎	
	④ 片付け	○	
	⑤ 用具の使用・活用	◎	
	⑥ 役割（手伝い、係活動など）	◎	
	⑦ 金銭	◎	
	⑧ その他（提出物の状況）	△	
社 会 性 ・ 行 動	① 指示や話の内容理解	○	① 抽象的な言葉は伝わりにくいので、 <u>指示は具体的に行う。</u> （「今日の授業で新しく習った五つの英単語を5回ずつ書いておいで。」等） ⑥ 感情が高揚したり、予定外のことが起こりパニックになったりしたときには、 <u>別室にて呼吸を整え、落ち着いたら、ゆっくり話を聞く</u> ようにする。
	② 意思の伝達	○	
	③ 集団行動・遊び	◎	
	④ 決まりの理解や遂行	◎	
	⑤ 人とのかかわり	○	
	⑥ 感情のコントロール	△	
	⑦ 危険回避・危険予知	◎	
	⑧ その他（ ）		
学 習	① 聞くこと	○	① 集中して聞くことが苦手であり、一斉の指示を聞き漏らしやすいので、 <u>一度本人の机の上をタップし、話し手に注意を向けてから話をする。</u> ③ 行を飛ばして読むことが多いので、 <u>定規を当てながら読む</u> ように促す。 ④ 板書をノートに写す際、時間が掛かるので <u>タブレット端末による記録</u> を促す。
	② 話すこと	○	
	③ 読むこと	△	
	④ 書くこと	△	
	⑤ 計算すること	◎	
	⑥ 推論すること	○	
	⑦ 描くこと	◎	
	⑧ その他（ ）		

項 目		主に中学校等で行ってきた配慮・支援
興味・関心等	得意なこと 好きな活動	タブレット端末やパソコンを使った活動 調べ学習や自分の意見をまとめて発表する学習は、タブレット端末を活用することを勧めた。
	苦手なこと 嫌いな活動	大きな音、突然の音 大きな音、突然の音が鳴ることが予想できている時には事前に伝え、本人の意向を尊重しながらイヤーマフを使用するように促した。

## 2 進学先の学校に伝えたい支援内容

### (1) 進学後も継続して取り組んでほしい内容や配慮事項

- ※ 合理的配慮の提供状況やこれまで大事にしてきた指導及び支援の工夫、支援のこつ、情緒的に不安定になったときの対応など、これからの伸ばしてほしいこと、そのための手立てや配慮事項など

教育的配慮による支援と合理的配慮による支援を分けて書く。

合理的配慮の提供	(有) ・ 無	※ 「有」の場合、★を付けて下記に記載
生活面	○	初めてのことにに対しては抵抗感を示し、取り組むまでに時間が掛かるので、 <u>モデルを提示し、活動の見通しがもてるようにした。</u>
学習面	★	提出物の種類や期限について、事前に保護者に連絡をする。
学習面	★	特に「書くこと」については、本人の苦手意識があること、実際にノート記入の際には時間を要することから、 <u>タブレット端末のカメラ機能を活用した板書記録を認めたり、試験時には別室受験及び1.5倍の時間延長を行ったりした。</u>

### (2) 進学後の学校生活に関する要望・期待など（本人・保護者記入欄）

本人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 口頭だけの指示では理解できないことが多いので、文字等による指示も併せて行ってほしい。</li> <li>・ 試験の際は、時間延長を検討してほしい。</li> <li>・ バスケットボール部に入部し、3年間頑張りたい。</li> <li>・ 卒業後は、情報関係の専門学校に進学したいと思っている。</li> </ul>
保護者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中学校で行っていただいた合理的配慮の提供については、高校進学後も継続してほしい。特に提出物については、事前に連絡をいただければ、本人と確認しながら準備できるので、是非お願いしたい。</li> <li>・ 卒業後は、本人の意向を尊重したいと考えている。</li> </ul>

このシートの内容を進学先や関係する支援機関と共有することに同意します。

令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日

名前 (本人・保護者) ○ ○ △ △

【資料】 各項目の観点例

項目	各項目の観点例	
健康 ・ 身体 機能	① 健康面に関する配慮	睡眠, 栄養, 生活リズム, 呼吸, 体温, 脈拍, 服薬, てんかん
	② 視覚	視力, 視野, 色覚, 光覚, 眼球運動, 斜視
	③ 聴覚	呼び掛けや音への反応, 聴力, 補聴器, 人工内耳
	④ 姿勢保持	首のすわり, 寝返り, 座位, 立位, 姿勢変換, 変形
	⑤ 移動	歩行, 車いす, 歩行器, 杖使用, 階段,
	⑥ 手指の動き	指の開閉, つかむ, 持つ, 操作する, 巧緻性
	⑦ その他	清潔, 衣服の調節, 感覚の過敏性 など
身 辺 処 理 ・ 生 活	① 食事	好き嫌い, はし等の使用, そしゃく, えん下, 食事の形態
	② 排せつ	排便, 排尿, 導尿, 排便後の処理, 手洗い
	③ 衣服の着脱	着る, 脱ぐ, ハンガーの使用, くつを脱ぐ・履く
	④ 片付け	学習用具の整理, 衣服の整理, 掃除用具の整理
	⑤ 用具の使用・活用	はさみやのり, 筆記用具, 諸器具
	⑥ 役割	手伝い, 係活動
	⑦ 金銭	お金の理解, 買い物, 自動販売機の利用, 貯金
	⑧ その他	挨拶, スケジュールの理解や変更, 提出物の提出状況 など
社 会 性 ・ 行 動	① 指示や話の内容理解	指示の理解・遂行
	② 意思の伝達	言葉, 視線, 指さし, 身振り, サイン, 絵・文字カード
	③ 集団行動・遊び	集団行動への参加, 遊びの様子 (一人遊び, 平行遊びなど), 遊びのルール
	④ 決まりの理解や遂行	順番, 学校等の決まり, 公共施設の利用
	⑤ 人とのかかわり	視線の共有, 家族とのかかわり, 教師や友達とのかかわり
	⑥ 感情のコントロール	多動性, 衝動性, パニック
	⑦ 危険回避・危険予知	交通ルールの遵守, 危険な場所への立入, 火気や刃物の使用, 異食
	⑧ その他	こだわりの有無 など
学 習	① 聞くこと	聞き違い, 聞きもらし, 集団の場での聞き取り, 話し合いへの参加
	② 話すこと	話す速さ, 単語の羅列や語彙の少なさ, 筋道立てた話, 分かりやすい伝え方
	③ 読むこと	読み間違い, 語句や行のとばし, 音読の速さ, 要点の読み取り
	④ 書くこと	字の形や大きさ, 筆順, 書く速さ, 細部の間違い, 句読点の使用, 作文力
	⑤ 計算すること	学年相応の数の理解や表記, 計算力, 文章題の理解
	⑥ 推論すること	事物の因果関係の理解, 目的に沿った行動の計画, 必要に応じた修正, 早合点や考えの飛躍
	⑦ 描くこと	図形の模写, 見取り図や展開図の理解, 人や物の描画
	⑧ その他	身近な生活に関する知識や理解 (生き物, 地図など), 音楽 など